



Yonago East Weekly

50年を経て、さらに求める「奉仕の理想」

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel (0859) 32-5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ANAクラウンプラザホテル米子
米子市久米町53-2 Tel (0859) 36-1111
- 会長/永島清孝 ●幹事/今出 上 ●会報/黒見純治

出席報告

会員数 112名
 出席数 69名 欠席数 38名
 出席免除会員 5名 名 荒川(雄)君 杉原(弘)君
 新納君 佐田山君 宮本(守)君
 出席率 65.45 %
 補正出席率 前回 3/27 69.91 % 3/13 64.60 %

ビジター

船越清輔君、河島隆則君(米子RC)

メーキャップ

会員19名(4/6IM ホテルニューオータニ鳥取) 会員19名
 (4/8米子南RC) 会員5名(4/11RI国際大会打ち合わせ)
 会員6名(4/14地区研修・協議会 出雲市民会館、ニュー
 ウェルシティ出雲)

今週のお祝い

出席100%祝:2年 深井基義君 4年 塩谷真司君
 8年 面谷博紀君 23年 岩崎 浩君

本人誕生祝:2日 井上弘達君 室 敦文君
 3日 伊藤慎哉君 5日 足立博俊君 6日 面谷博紀
 君 10日 木山力哉君 18日 中村 剛士君 22日
 松浪昭二君 24日 平岡憲治君 26日 安井峰男君
スマイルBOX 72,000円 (1,154,000円)
 出席100%祝:深井君、岩崎(浩)君、面谷君、塩谷君
 本人誕生祝:足立(博)君、伊藤君、室君、中村君、
 西澤君、面谷君、尾沢(三)君 夫人誕生祝:谷野君
 結婚記念日祝:江原君、入江君、長棟君、高田(剛)
 君、谷野君 創立記念日祝:伊藤君、宮永君、西村
 (正)君、小椋(理)君、尾沢(三)君、尾沢(裕)君、鷺
 見君、田淵君 「博愛こども発達・在宅支援クリニッ
 ク」開所式を行いました。:石部君 米子市文化ホー
 ルにて、家内が久しぶりにフルトリサイタルを開催
 します。:野坂(美)君 米子市自治功労者表彰を受
 けました。尾沢(三)君 4/4どらやきの日:鷺見君
 お世話になります。:米子RC 河島君

会長挨拶

平成の次の年号が令和に決まりました。平成は明治・大正・昭和であった戦争こそありませんでしたが、東日本大震災、阪神淡路震災など多くの人命が失われました。令和の時代は私たちが安心して暮らせる時代になってほしいものです。

私は剣道をやっておりますが、剣道の教えに柳生新陰流の「三磨の位(さんまのくらい)」というものがあります。習いの「習」、鍛錬の「錬」、工夫の「工」の三つのことです。まず「習」は、いい師匠に習わないと外道だと言われています。「錬」は、まず稽古が大事で理屈は後から付いてくると言われています。「工」の工夫は、いくら良い師匠についても工夫が無ければ進歩はありません。修業はこの「習い」、「鍛錬」、「工夫」の繰り返しであります。

皆様もこの柳生新陰流の「三磨の位」の教えを仕事などに取り入れられたらいかがでしょうか。大いなる成果が期待できると思います。

幹事報告

1. 堀会員よりJR時刻表を頂きましたので、ご自由にお持ち帰り下さい
2. 来週4/10(水)休会
3. 4/24新旧引継ぎクラブ協議会 例会終了後開催

4. 7/27~28 米山ファミリーの集い in モンゴル
5. 例会変更のお知らせ

米子中央RC 4/18(木)夜間例会

		ビジター受付あり
米子南	4/15(月)休会	なし
境港	4/16(火)休会	なし
		ビジター受付あり
倉吉	4/9(火)移動例会	事務局にて //
鳥取西	4/12(金)夜間例会	ビジター受付あり
倉吉東	4/18(木)移動例会	//

**4/6 第1・第2グループ合同IM
(ホテルニューオータニ鳥取)**



インスピレーションになろう

BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう

<プログラム>

「ホーランエンヤについて」

松江市市議会議員
野々内 誠 氏



松江城山稲荷神社式年神幸祭は、その勇壮な掛け声から広く「ホーランエンヤ」という名で親しまれています。松江城内に祀られた稲荷神社の御神霊を、約10km離れた東出雲町の阿太加夜神社(あだかやじんじゃ)に船でお運びし、7日間にわたって五穀豊穡や市民の幸福を祈願し、再び稲荷神社にお帰りになる船渡御祭です。

今から約370年前の慶安元年(1648年)、出雲の国は天候不順で大凶作が予想され、これに心を痛めた時の松江藩主松平直政公(徳川家康公の孫)が、稲荷神社の御神霊を阿太加夜神社にお運びし、何日にもわたり豊作の大祈禱をさせました。見事に満願成就したことから、以来10年から12年毎に行われておりましたが、現在は10年毎の式年神幸祭として行われるようになりました。

古くから日本三大船神事の一つといわれ、絢爛豪華な權伝馬船が行き交う水の都松江が誇る全国最大級の船祭りです。

渡御祭 —とぎよさい—

城山稲荷神社での祭曲後、後神霊を厳かな陸行列で大橋川河畔へお運びし、神輿船に移して阿太加夜神社までお運びする船渡御祭です。

4つの大橋の間では、色とりどりの装飾をした5隻の權伝馬船が、勇壮かつ華麗な權伝馬踊りを奉納します。約100隻、約1kmにも及ぶ大船団は10km程離れた阿太加夜神社に向かいます。到着地の意宇川で再び權伝馬船踊りを奉納した後、御神霊は神社に安置され、7日間にわたる大祈禱が行われます。

中日祭 —ちゅうにちさい—

神幸祭の中日に、阿太加夜神社で行われるお祭りです。權伝馬船の踊り手たちが陸路に乗り替え、船上で權伝馬踊りを披露しながら参道を進み、境内で再び踊りを奉納します。

還御祭 —かんぎよさい—

7日間の大祈禱を終え、阿太加夜神社に安置されていた御神霊が、初日の渡御祭とは逆の経路をたどって、もとの城山稲荷神社にお帰りになる船渡御祭です。

5大地の人々は再び權伝馬船を繰り出し、絢爛豪華な船行列でお供をし、大橋川で一糸乱れぬ權伝馬踊りを披露します。そして、陸路稲荷神社境内を目指し、厳かな祭礼の後、權伝馬は全身全霊最後の力を振り絞り權伝馬踊りを奉納し、9日間に及ぶ神幸祭は幕を閉じます。

次回プログラム

4/17 「歌と歩んだ人生」
日本作曲大賞受賞 作曲家 石田光輝 氏

4/24 「ロータリーの友」紹介 雑誌委員会
「米子城跡を活かしたまちづくり」
米子市文化課学芸員 濱野浩美 氏